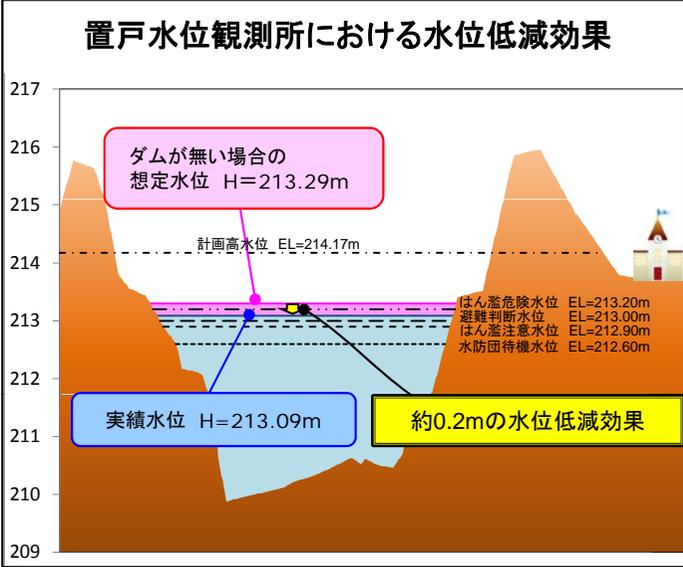
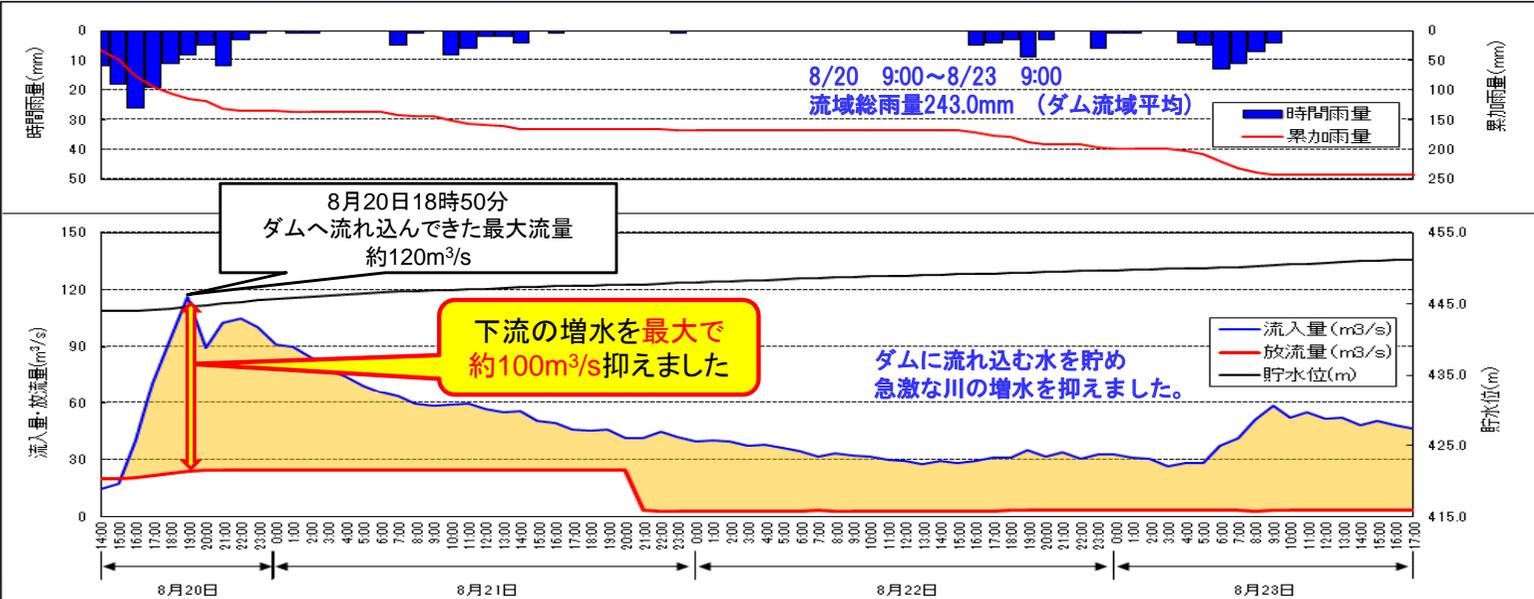


ダム整備が効果を発揮(北海道 鹿ノ子ダム) (国管理)

- 平成28年8月台風第9号、第11号に伴う降雨により、鹿ノ子ダムにおいては、洪水量を超える流入量を観測。
- 鹿ノ子ダムの防災操作によって下流河川の水位低減を図り、下流の置戸町(置戸水位観測所)では、水位を約0.2m低減させる効果があったものと推測されます。
- 仮にダムが整備されていなければ、氾濫危険水位を上回る出水※1となったことが想定されます。

※1 氾濫危険水位: 洪水により相当の家屋浸水等の被害を生ずる氾濫の起こる恐れがある水位

鹿ノ子ダムの防災操作



※本資料は速報値であるため、今後の調査で変わる場合があります。